

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	北部地域療育センター	評価対象年度	令和元年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人 同愛会 ・代表者名 理事長 高山 和彦 ・住所 横浜市保土ヶ谷区上菅田町金草沢1749	評価者	障害計画課長
指定期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部障害計画課

2. 事業実績

利用実績	通園定員 60名 通園契約児136名(222名) 診療所利用児数 年間延べ5,330名(5,334名) リハビリ・検査実施数 年間延べ4,855名(5,330名) ()内は前年度実績		
収支実績	【収入】 給付費収入 77,523千円 医療事業収入 27,756千円 指定管理委託料 288,012千円 積立金取崩収入 2,200千円 その他 4,889千円 合計 400,380千円	【支出】 人件費 301,828千円 事務費 50,984千円 事業費 17,847千円 その他 0千円 繰入金 19,000千円 固定資産 11,284千円 合計 400,943千円	収支差額 ▲563千円 ※千円未満切り上げのため合計に微差あり
サービス向上の取組	・第1・3土曜日の開所も含め、診療所263日、通園療育222日の開所日を確保し、0歳から18歳までの障害児および発達に不安のある児童とその家族を対象に通園療育、外来診療・診断、評価・リハビリおよび保育園や幼稚園に対する地域支援を実施した。 ・人材確保については既存職員の労働環境の課題把握に努めるとともに、新規職員の確保・採用の手法の見直し、良質なサービス提供に向けた体制構築に取り組んだ。 ・月1回保護者が集まり懇親会を行う「保護者サロン」や父親を対象とした家庭間交流を企画した「父親交流会」を実施するなど、保護者を支援する取り組みを行った。		

3. 評価 (評価段階:5~1,標準:3,加点割合:5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	3	6
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	3	6
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) ・職種間連携を緊密に行い、チームアプローチによる適切な利用者支援を提供した。 ・診療所と通園が連携し、気管切開や胃ろうなどの医療的ケアが必要な児童への健康管理を組織的かつ円滑に行い、利用者に応じた支援を適切に行った。 ・地域の人材育成に資する新たな試みとしてアーリーアダプション(医大生の早期受入)を実施し、医療系学部との連携促進や小児発達領域に理解ある医療人材増加を企画した取り組みを行うなど、福祉サービスの提供のみならず、地域の中核機関としての地域活動を積極的に行った。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	4	4	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
(評価の理由) ・前年度に引き続き法人内部監査室による監査と外部公認会計士による監査を行い、厳格な経理業務の運用を行った。 ・財政援助団体会計監査にて積立金について指摘を受けた。現在は取り扱いに関する定めに基づき計画的な取り崩しを行っている。					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	3	3
		利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
(評価の理由) ・センター内全体の運営に関わる取り組みとして委員会を運営し、サービス向上に向けた課題の分析・改善に取り組んでおり、当該年度は医療的ケア委員会の立ち上げを行った。 ・支援会議を通じて各利用児童に必要な療育を組織的に把握するとともに十分かつ適切な療育の提供を行った。 ・第三者評価を実施し、外部機関からの調査を受けることでサービスにおける現状分析および課題把握に努め、サービスの向上にへ取り組んだ。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> ・所内の各部門を取りまとめる主任職員を対象に業務推進アドバイザーによるコーチングを実施し、各職場において適切なOJTが実施されることをはじめとした一般職員が不安なく仕事のできる環境作りのノウハウを習得する機会を新たに設けた。また、管理職と各職員の面談を実施し、労働環境の課題把握に努めた。 ・防災委員会が主導となって災害用備蓄の配備確認や月1回の頻度で避難訓練を実施するなど、センター全体での防災意識の醸成を行った。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> ・仕様に準じて定期的な保守点検を実施し、不具合等があれば早期に所管課へ連絡を行い適切な保全対応を行っている。 					

4. 総合評価

評価点合計	66	評価ランク	C
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E,標準:・C,A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・地域の中核機関として地域包括ケアシステムを意識した地域全体を視野に入れての取り組みや貢献活動がみられていた。
・昨年度から継続して、療育の質の向上に向けてセンター内における職種間連携を重視した取り組みが多く行われていた。
・築28年の建屋におけるハード面の保守・点検を丁寧に行い、また防災に対する備えを重点的に行うなど安定した業務運営を意識した取り組みが行われていた。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

職員の適切な労働環境および適正な体制の確保と、利用児童への良質なサービスの提供の両立に努めること。